

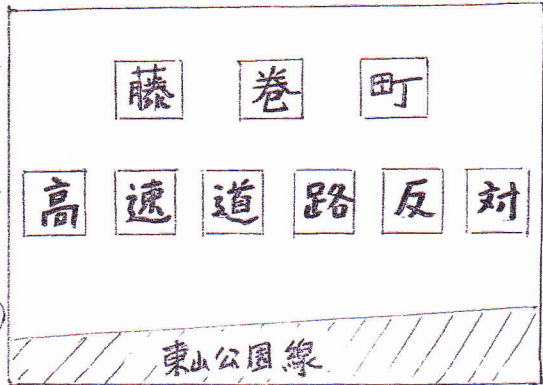
50.12.1

藤巻 だより

静かな環境を守り
高速道路に反対する会

広報部 反対の看板立つ

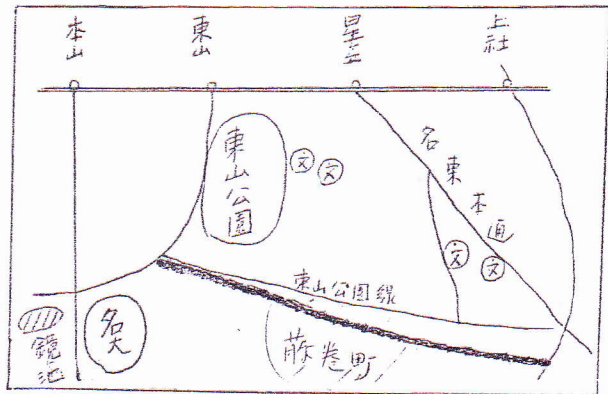
私たちの住民意志を広く世間に示す看板が11月24日、二丁目の岡田津弥さんの所有地に立ちました。右の図のような一字90センチ四方のもので、「藤巻町は白地に緑」「高速道路反対」は白地に赤のゆかり光塗料で書かれた美しい看板です。池田正文さん(交渉部部長・7組) 柘植昭さん(運動本部・6組)が材料提供、制作などに特別協力をさされ、経費もこまわすので出来上がったといいます。ここに感謝を込めてご紹介いたします。



運動本部 名古屋市当局と委員長ら会談

10月29日午後、早川委員長、林田・南川両副委員長、山田・西村両運動本部員の五人は、名古屋市計画局に山田計画部長をたずね「静かな環境を守り高速道路に反対する会」が藤巻町に結成された旨のあいさつをし、伊藤街路計画課長、松田係長にも同席してもらい、今回の「高速道路検討素案」作成の経緯を聞き、約二時間(会談)の

ルートの変更に関しては、原案が地下鉄と重なり、地下工事が困難なこと、藤巻町を横切るようにしたのは比較的人家が少ないことなどの理由であると説明された。しかし、これによってルートが不自然に折れ曲がった形になるばかりか、市民の憩いの場である東山一帯の静かな環境を阻害することに対しては、ただ、できる限りの公害対策をねとというように抽象的な話だけで、与ら具体的な回答は得られなかった。



—— 高速道路。(上記は全くの略図です)

高速道路ができた場合の交通量に関して、容量が一日八万台の街路であるから、五~六万台を予測しているという少なめの回答をしていた。(参考 = 東山通 四万七千台、要町八万台の由)

(次ページに続く)

藤巻町が野鳥の声1月23日 静かな環境であることについては十分認めたが、逆に、計画公園内(あり、特別に許可された建築であるから除去もできるという発言があった。これに対しては、高速道路を通すというには全然別な問題であり、静かな環境を守るという趣旨とは全く逆な方向なので絶対に承服できないと激しく反論した。

具体的な街並みの位置はまだ確定していない由であるが、手続きとしては、市(原案を確定し(この際、市議会及び市=都市計画審議会承認を要する)県が決定す(県議会及び県=都市計画審議会承認を要する)ことになるという。

また、この町では、住民の了解と得る事が必要で、以上の決定(際)には、必ず住民との協議と説明の徹底が求められる。

連絡部 道路公害反対全国住民交流集会に参加

11月2,3の両日、名古屋視覚会館で道路公害反対全国住民団体(地元名古屋市民協議会中と東京横浜、神奈川、大阪、長崎などの40余団体約80人)が初めて集まり、運動の実情報告や今後の進め方を話し合った。

参加者は、高速道路の計画地、工事中の地、すなわち道路被害の倍々公害認定患者の多い地などから代表者、同じ目的の1人、真剣な討議が、かた起す事小用気だった。中津、目前に下まわりの橋脚の下に中古車を置き、三年半工事をしてアッパせている尾崎(5000人の公害認定患者)の森島氏(68歳)や、千音寺地(報道された響江インターの問題は、この地が反対と名古屋市の問題がござらない)の代表の「私は子供の命を守ったために、また私を交後にくわさるこわからの若い人たちのために、生命の続く限り戦って行く」という文章と折り体を張った所は痛烈。北川崎環境保全審議会の学識経験者を動員し科学的に公害を否定しようとする地連の運動、行政への不信から直接国に対し工事差し止め訴訟を起した記念バスター反対連絡協議会の力強い海勢、住民入居前に計画された1日10万台の車が通過する平面道路を掘削し、52に12億円の予算取つてなお上はアッパシ、子供たちの遊園地とさせたことにした清瀬旭丘団地の成功など、それぞれ印象に残る事になった。

次の集会は来春を以て、全国組織をかねて川崎市民館に設け、当面全国連絡センターを名古屋に置くことが確認された。

集会アピール: 憲法に保障された国民の権利を生活者主体とした科学者、労組、政党とあつたかりを深め、反対運動にとどまることなく、新しい町づくりを進め、手をたいて前進しよう。

森田氏、三輪さん(すなわち連絡部)の語: この集会に参加し、3日は道路公害の問題となっている南区要町を見たのですが、日曜日7分たんの約6割の交通量だということに、アッパの声も全然聞こえず、10分ほど並っていただけで頭が痛くなり、帰宅後も気分がすくまありません。藤巻町にも高速道路が通たら大変なことになると思います。(次ページに続く)

高速道路反対!

みんなでお考え、話し合い、行動しましょう

藤巻町

研究部

大気汚染調査を実施

自動車の排気ガスに含まれる二酸化窒素(NO_2)で大気がどのように汚染されているかを調査すべく、高速道路反対名古屋市民協議会や各労組、民主団体によって行われた。

これは市役所/駅/市庁舎を200メートルに網の目に区切り、そのほぼ中央で NO_2 を測定するもの。藤巻町はこのエリアには入っていないが、現在環境のよい藤巻町が、高速道路の完成によってどんなに悪くなったかを知るためにも、この調査に参加した。

地上1.5メートルの高さに硫酸カリウムと混ぜ合わせた「アルカリ性紙」の入ったビンを送り、24時間放置し、その紙に含まれた NO_2 を分析するのが、藤巻町では、このビンと東山公園線の信号機のある池の近くまで10カ所の地点を選んで設置した。名古屋工業試験場での分析結果は、改めてお知らせ予定です。

注 二酸化窒素(NO_2)とは

自動車の排気ガスは人体を害する汚染物質をいっぱい含んでいるが、なかで二酸化窒素と二酸化窒素は最も恐ろしい。特に NO_2 は動物実験では100PPMで即死、人間は500PPMで48時間後に死亡するといわれている。目まい、頭痛、気管支炎やぜんそくなどの障害を起す。環境基準は0.02PPMだが、名古屋や首都高速道路の環状7号線では基準の5~10倍の NO_2 が検出されている。

交渉部

交渉部は今後、いろいろ忙しくなり、上記のカットにふさわしいご報告を皆さん方にご提出すべく、より協議したり考えたりしております。皆さんのご支援とご協力をお願い申し上げます。

調査部

まず二項目の調査

11月15日夜の才田役員会で、①西山学区公団関係者調査②藤巻町不在地主調査の二点を委員長から指示され準備に入った。県立公園などに連絡、関係のある方を知り、反対運動の効果的につなげられるため、不在地主の方のご協力を得ることもぜひ必要の判断から、調査お任せ。

財務部

拠出金集まる

今年度の運動資金(一世帯2000円)拠出につきご協力願ったところ、135戸の35,126戸(1/5分割拠出1F)から25,000円が集まった。準備委員会当時の正蓄金16540円と会費後の支出13920円を差引き、現在高は220540円。拠出世帯率96%。

お知らせ

私たちの声を広報に!

今後、住民の声、ご意見、PR資料なども掲載したいので皆さんご協力を、広報部へ。

部員名義者

- ▽研究部の伊藤善吉さんを伊藤朝治郎さん(7組・電話781-7974)に。
- ▽交渉部に上野文子さん(8組・電話781-8066)を追加。(3)